

# 草取此炉

## はじめに

この掲示板は

①万物の祖を

「へのへのもへじ」と定め

②その音色を

ののさま

ほっこり

ののさま

偉大 とし

その後 その音色は

③「絵詞」と「三身一体」を経て

聲のみ「陀羅尼」となる

④この道理は

後述の「天地之詞」で知った

## 十井の色葉字 青人草

発行 づるばみ  
郵便 四三八一〇〇八六  
住所 磐田市見付二七八六  
電話 〇五三八一三三三〇二七三  
F X 〇五三八一三三三〇〇三  
電信 logos@mvt.biglobe.ne.jp  
岩田修良  
カナ ア②@ ドレスドット

## 政治から一切離る

当初 この世が平和になるには

平和な国旗・平和な国歌になるしかない

さう 思ひ込み

新党「草取此炉」の私案を以て

国旗・国歌の改訂を夢想した

しかし

今の国旗は そのままでも

「へのへのもへじ」の深化発展に

何の不都合もないことがわかり

国旗・国歌改訂の夢想は自然消滅

新しく出て来た「平和運動」は

今の時代を「陀羅尼の時代」と定め

「陀羅尼」の普及一つとなった

## 新・平和運動

平和||十ロノ・平・ハ

||和二の・十しノ一話

||和三一の・十四の一話

||和王の・十四の一話

平和||「へのへのもへじ」の

十四の一話

ののさま

ほっこり

ののさま

偉大

## へのへのもへじ

、  
||二

ののもへ||二::二度読み

へへ

しし (縦直し)

し||し大

||詞大

||詞ノ二し

||詞の二字



# 鬼退治

鬼 || しこ (和名)

|| も (し+こ)

鬼 ←

ののもへ ←

ののさま ←

ののさま (尊称語)



のの  
もへ  
さま

# 和名の四

のののもへ・

のののさま・二

のののさま・のののさま

しし || 二二二二

|| 十八こり

|| ホ こり

|| ほっこり

詞 || ロ ロニー、二二

|| 二二二二ハシ 二ハ

|| 十こ十こハシ 大

|| た た ハシ 大

|| 偉大



# 和名の十四の一話

のののさま

ほっこり

のののさま

偉大

平和 || 和名の十四の一話と解析し

その 十四の一話を以下に定めた

のののさま

ほっこり

のののさま

偉大



# 医王

コ転 ノ十し ノ二エ

こころの二二二二のこえ

こしノ炉のへイハの聲

腰 の炉の平和の聲



こころ

炉

腰炉

のののさま

ほっこり

のののさま

偉大

「こころ」の発見

『和名抄』源順著

心 古々路

私案

心 ころ

こしノ 炉

腰 の 炉

こころ 炉

心 ころ

二二呂

十レロロノ

十しワ二二の

十四和三一の

和名の十四

十四 二二ロノし

ヘイワの詩

平和の詩

和名の十四・平和の詩

「金」の発見

金 二ハ

大

王

へのへのもへじの十四

十四 二二ロノし

ヘイワの詩

平和の詩

和名の十四・平和の詩

ののさま

ほっこり

ののさま

偉大

天地之詞

あめつち

ほしそら

やまかわ

みねたに

雲霧

室苔

人犬

上末

由王さる

遠不世与

江乃。於

奈禮居天

は さ字 ら

な於 あ阿 や

た江 か伊 ま

わ

人・犬

①

人 八

眉の姿詞



人 ひと

日門

人 しのし

四の始

ののさま

犬

犬 || ハ ト 、大  
|| ハ と ノ



ののさま

古称 →

- ・ 笑草
- ・ 青人草
- ・ 絵日主さま

上・末 ②

上 || 笑草の上  
青人草の上  
絵日主さまの上



上 || 二し  
|| 二詩  
|| ほっこり

末 || し十 ノ二  
|| し三ノナ  
|| しロチ  
|| 白地



由王 ③

由王 || よしー三  
|| 四詩ノ三  
ののさま 四の始 (人)  
ほっこり 二詩 (上)  
ののさま 四詩の三 (由王)  
偉大



ののさま

由王 || 十二ーロ十  
|| ニンーろ和  
|| 紺色輪

さる ④

さる || 目し、十  
|| まじ、二三  
|| 真字、二ハ  
|| 真字、二葉  
|| 偉大

さる || さ ル  
|| し 十ラ  
|| 二ニニラ  
|| コンソラ  
|| 紺空



天地之詞

天地之詞

天地え詞

天地絵詞

ののさま



ほっこり



ののさま



偉大



逆称「青天・白・地・ツ」

青天



白||ロノ一||ワノ一||輪の一



地||し十ち||白地



ツ||、ノ||ハノ



天地絵詞

詞||言

||ロ二二

||ワ三一

||和王

||へのへのもへじ・、平和

この場合の平和は以下

平和||一ロ八十・禾

||いろは二二・イ大

||いろは十二・偉大

ののさま いろは四

ほっこり いろは八

ののさま いろは十二

偉大

・、二一ロ

・、へ一ワ

・、平和

・、平和



遠不世与

遠||を

不||人一|二

||人二

||人に

世||シラセ

||知らせ

与||よ

上記の天地絵詞を  
人知らせよ



# 江乃。

江〓エシ

〓絵詞

乃〓ノ一とは

〓のあとは

〓の後は

絵詞の後は

乃

# 於

於〓二ハ、い二

〓十ハ、いへ

〓東和、家

於  
いへ

# 東和の家

東和〓東・禾・ロ

東〓十ロ+小

〓二ワとこ

〓庭床

禾〓ノ+ハ

〓ム

ロ〓二二

〓くり

東和〓庭床・ムくり

〓庭床・起

東和の家〓庭床+起屋根の家



# 奈豊

奈〓二小大

〓にこ二ハ

〓二個庭

豊〓しろ ノ二曲

〓白 の二曲

〓どんぐりの二曲

〓つるはみの二曲

〓くぬぎの二曲

奈豊〓二個庭くぬぎの二曲

# 絵詞の後は…

つまり

絵詞の後は

- ①東和の家
- ②二個庭くぬぎの曲

結論先行・詳解後述



ののさま  
ほっこり

ののさま  
偉大



# 二個庭くぬぎ

くぬぎ二種有り

西に自生するくぬぎ||精  
東に自生するくぬぎ||櫟

精||日ハ、王木

||庭、王木

よって

二個庭くぬぎの曲

庭の精||ののさま

隣の櫟||偉大

# 東和と二個庭くぬぎ曲

ののさま③  
偉大④



ののさま①  
ほっこり②

ののさま③  
偉大④



# 示居天

雅言法

子音の中にある母音を引き出す

ロ||ワ

||ワあ

||あ

居天示

居||コノロ十

||このあと

||この後

天||シノエ

||二二ノ三

||こへのみ

||聲のみ

示||、小二

||蛇ラ二

||陀羅尼

## 陀羅尼

『陀羅尼』広辞苑より

一字一句に 無辺の義趣を蔵し  
これを誦すれば  
諸々の障害を除いて  
種々の功德を受けると言はれる

私塾鶴羽實で開発した「陀羅尼」

ののさま  
ほっこり  
ののさま  
偉大



## くぬぎの手紙

- 一：万物の祖の平和の聲  
← ← ←
- 二：天地絵詞  
← ← ←
- 三：東和の家・庭の精・隣の様  
← ← ←
- 四：聲だけの「陀羅尼」となる  
「信ずる」よりも  
私塾鶴羽實が開発した陀羅尼に  
語徳があるのか 無いのか  
試してみるか：  
こんな科学的態度が望ましい  
病脱却にご利用の場合  
腰の炬に 温高な日を  
ホッカイロに入れてお試し下さい

## オノマトペ心理学

- ノしノし 鶴ばみ  
ガンガン 黄ばみ  
のこのこ とことこ  
ほっこり などの擬態語を  
フランス語で「オノマトペ」と言ふ  
この視点を以て  
開発した陀羅尼をみると：  
ののさま 尊崇語・のどか  
ほっこり あんど  
ののさま 尊崇語・のどか  
偉大 偉大そのもの

## 孤高の平和運動

- 資金ゼロの平和運動  
たった一人で始められ  
その後も 煩はしい 人間関係や  
人付き合ひから生まれる  
集会参加の呼び掛けを受けることもない  
何より安心なのは  
人から寄付懇願を受けることがないし  
人に賤しく寄付を懇願することもない  
その上  
ここで言ふ「金」持ちになれる  
また 始めるも 中途放棄も  
一切 人からの制約を受けない  
仲間は「くぬぎの手紙」の  
不特定多数の投稿者のみ  
居るとも 居ないとも 言へる

## 薬王

静岡の伊東市の川奈ゴルフ場の土壌で発見された「放線菌」が吐き出す天然有機化合物・エバーメクチン  
これを人の薬用にしたイベルメクチンは人の生理活性物質を三十余り保有するこの物質が 体内で働き  
色々な症状を軽減させる よって多機能型抗生物質とも言はれてゐる  
しかし 残念かな  
この効能の広さと薬の安全性について深く知る人少なし  
詳細は拙論『コロナ騒擾に学ぶ』に譲り  
この掲示板では  
「薬王イベルメクチン」の自身の治験事例や輸入製品  
そして「放線菌」の情報を共有し  
自己の健康増強に役立てる

## 医王

医王 || コ転 ノ十しノ二エ  
|| ここ炉の十四のこえ  
|| **ここ炉** の十四の聲

医王 || ここ炉の十し ノこえ

|| ここ炉の二二二の聲  
|| ここ炉のへいハの聲  
|| **ここ炉** の平和の聲

ここ炉 || こしノ炉  
|| 腰の炉



ののさま  
ほっこり  
ののさま  
偉大

|| **ここ炉**  
|| **ここ炉**

## 医王の発見



ののもへ || のの 萌へ

|| こし、○ 萌へ  
|| 腰、口萌へ  
|| 腰、炉萌へ

|| **ここ炉**  
|| **ここ炉**



ホツカイロ二枚を  
腹巻きに 縦に貼り  
腰の炉 (|| **ここ炉**) を  
萌やす

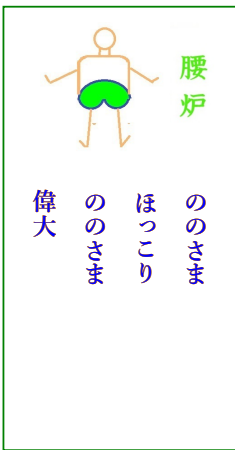
## 医王の発見



へのへのもへ . . . **じ**  
のの もへ . へへ . 大じ  
こし、口萌へ . 二へ . 王二し  
腰、炉萌へ . こへ . 王十四  
腰、炉萌へ . 聲 . 十王四

十王四 || 和王ノし ロ

|| 和王の二二ワ  
|| 和王のへイ和  
|| 和王の平和



ののさま  
ほっこり  
ののさま  
偉大

|| **ここ炉**  
|| **ここ炉**

## 陀羅尼から真言へ

『広辞苑』

真言⇨長いものを「陀羅尼」

短いものを「真言」といふ

『文字』

草字⇨いろは字 ①

真字⇨今言ふ漢字 ②

陀羅尼

ののさま

ほっこり

ののさま

偉大 ⇨ 真字言⇨真言

偉大⇨偉大(字源)

⇨ナシ、し

⇨ナジ、詩(詳細後述)

## 天地之詞

あめつち

ほしそら

やまかわ

みねたに

雲霧

室苔

人犬

上末

由王さる

遠不世与

江乃。於

奈禮居天

→ →

この解釈の相異から

「陀羅尼」と「真言」が生まれる

は — さ字 — ら

な於 — あ阿 — や

た江 — か伊 — ま

— わ —

## 示居天

禮居天⇨豊・示居天

→ →

この解釈の相違から

「陀羅尼」と「真言」分離

# 陀羅尼の離合和訳

雅言法使用（子音に潜む母音引出す）

か||かあ

わ||わあ

示居天

居||コノロ 十

||このワあと

||このあと

||この後

天||し ノエ

||二二三

||こへのみ

||聲のみ

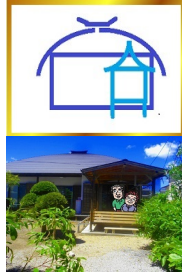
示||、小二

||蛇ラニ

||陀羅尼

この後とは…

東和の家



ののさま  
ほっこり

ののさま  
(庭の精)



偉大  
(隣の精)



この「平和の四聲」の後

① 聲のみの「陀羅尼派」と

② 「真言派」に分かれる

# 真言の離合和訳

示居天||示・居・天

居||この後（陀羅尼に同）

天||ハ一二

||葉ノ二

示||二シ

||腰

居||コノ十ロ

||ヲ ニコ一

||ヲ シンコ一

||温高

天||一大 天||ナシ

||偉大…x 示

奈示||大ニ小ノライ

||大日のらい

示  
イラノ

天  
びナ

残り物には「福」がある

残り物を探す

家 ||ののさま・ほっこり

庭の精||ののさま

隣の棟||偉大

残り物には

残り物二葉

残り物 ||庭の精の葉

隣の棟の葉

福||二ハ・一ロ・一ロ、一・十

||大・日・ノコイ一・和

||大 日・ノライ・和

||大日のらい

大日ノライ  
示 田 和 十

## 色葉四聲

四聲 || ロ シノ聲

|| ニニシの聲

|| ナ、シの聲

|| 奈、ジの聲

|| 奈示 の聲

奈 || 大二小

|| 大日

示 || ハー、ニ 示 || ノライ…②

|| 和し、①②より

|| 和じ 示 || 大日のらい

|| 和字…①

色葉 || 二個庭くぬぎの黄葉

|| 大日のらい

示  
イラノ

## 色葉四聲

四 || ロ シノ

|| ワ ニニの

|| 和 三一の

|| 和 王の

色葉四聲 || 和王の色葉聲 (詳解下段)



大日



のらい

## 和王の色葉

の || どんぐり (眼)

|| つるはみ (和名)

|| くぬぎ

へへの のもへじ

しし の のもへ、し

ニニニニどんぐりのもへノノ

ニこニハつるはみのもみ じ

二個庭 くぬぎ の黄葉



大日



のらい



へノノ  
み

へし

## 心

心 || ころ

|| こしノ妒

|| 腰の妒

腰 妒



何となく

人々は 心は 脳に実在する

証拠は無いが さう思ひ込んでゐる

ところが

心は ころ

ころは ころノ妒

腰の妒であった

(こ) 妒

(こ) 妒

# どう考ふべきか

自宅にも 和王の色葉



塾にも 和王の色葉が萌へてゐる



これが

私の「心」のスイッチ・オンに

繋がったのか？

## 心

心||し、ハ 鶴||鶴羽實

||鶴、葉 ||つるはみ

||鶴、葉...① ||くぬぎ

心||こころ

||こしノ炬

||腰 の炬...②

①②より

鶴の葉が

←

沢山たまつて

←

腰の炬が萌へましたか？

腰 炬



## 真言

真言||十 一ハニロ・ニニロ

||ニニラ ニワ・こころ

||十こラ 二は・こしノ炬

||た ら には・腰の炬

||陀羅尼 は・腰の炬

## 真言

大日のらい

腰 炬



## 深味の「陀羅尼」

腰の炬が無い時の「陀羅尼」

ののさま

ほっこり

ののさま

偉大



腰の炬に日を入れた陀羅尼（||真言）

大日のらい

腰 炬



医王

医王 || コ 転 ノ十二・天

|| ここ ろの二へ・ナじ

|| こしノ炉のこへ・奈示

|| 腰 の炉の聲 ・大目のらい

こしノ炉  
こしノ炉  
天  
びナ



大目のらい

腰 炉

平和

平和 || し 十ノ一ロ・十ノノし

|| 二二 二二の一ワ・ナ、し

|| ここ ロ の一話・ナじ

|| こしノ炉 の一話・奈示

|| 腰 の炉 の一話・大目のらい

大目のらい

腰 炉

金

金 || 二しノ十 人

|| こしの二二ノし

|| 腰 のロ の二二

|| 腰 の炉 のナし

|| 腰 の炉 のナじ

|| 腰 の炉 の奈示

|| 腰 の炉 の大目のらい

大目のらい

腰 炉

天地之詞

天地之詞

天地え詞

天地絵詞

天地・之 詞

天地・へノ二・詞 へ || 山の姿詞

天地・山ノ二・詞

天地・山 詞

天地之詞

大目のらい

腰 炉

## 詞

詞 司言

始原

至言

詞 司言

司 二一、ロ

こし 炉

腰 炉

言 二二二二

こへナシ

聲 ナジ

聲 奈示

奈示 大ニ小ノライ 示 ハー、ハ

大日ノライ

大日のらい

ワシ、

和じ

和字

## 「大日のらい」の意味

字源から探る大日のらい

大ニ小・示

大ニ小 二く・一、二ハ

ふく・し フ、

福 ・二二ブ

福 ・ヨ ブ

福呼ぶ聲

示 一、ノ二

二二 しのハ

ここ 二二の寝

こしノロ の音

腰 の炉 の音

## 慌てることはない

戦争危機！

感染症の危機！

天災の危機！

貧困の危機！

あちこちで 国民を煽ってゐる

日本だけではない

世界をあちこちで起きてゐる

煽動家たちの見苦しいまでの叫び聲

なあに 慌てることはありませんよ！

今は「福呼ぶ腰の炉の音」の

「大日のらい」がある時代ですよ

これで

貧苦 心苦 戦苦 病苦から脱却

こんな「歌説」に 到達しました

そこで

「仮説」普及の掲示板を造作

## 掲示板「投稿の仕方」

### 索性

名前：仮の名・本名 どちらでも

性別年齢：不要

住所電話：不要

学歴職歴：一切不問

### 書法

縦書詩文

### 投稿記事修正可

投稿時に

半角英数文字 たとへば

記事修正番号 〓 tatecha を入力

## 自身の投稿記事修正

### 事前準備

投稿する時に

記事修正文字に

半角英数文字 たとへば

Caroba とか

1234 等を入力

### 記事修正

掲示板の一番下の「ボックス」に

①番号 || 自身の [記事番号](#)

②暗証キー || 自身の半角英数文字

### 記事修正画面

ご自身の記事が出て来ます

画像忘れなら 添付で

画像差替も 添付で

投稿記事も 修正できます

## ご挨拶

この掲示板は

腰にホッカイロを貼り

常に「心」を温高にし

その腰の炉の音色

「大日のらい」を楽しむ掲示板です

当初 イベルメクチンの薬効事例も

集めて行くつもりでしたが

話が 飛ぶとややこしいので

焦点を「ここ炉」の音色だけに

絞り込みました

それは たったこれだけの心技で

病苦も 貧苦も 心苦も 戦苦も

果ては 天災も 乗り越えて行く

そんな大胆な仮説を立てたからです

「奇跡の薬・イベルメクチン」があるなら

奇跡の「ここ炉の音色」があっても

不思議ではありません

そんな夢を追ひかけました [掲示板へ](#)



腰炉

ここ炉  
こころ炉